



2023年8月9日

各位

会社名 株式会社イーエムネットジャパン
代表者名 代表取締役社長 山本 臣一郎
(コード番号：7036 東証グロース)
問合せ先 常務取締役 CFO 兼管理統括部部长 村井 仁
(TEL. 03-6279-4111)

当社の親会社 ソフトバンクグループ株式会社
代表者名 代表取締役 会長兼社長執行役員 孫 正義
(コード番号：9984 東証プライム)

当社の親会社 ソフトバンク株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一
(コード番号：9434 東証プライム)

2023年12月期 通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえた結果、2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期業績予想を以下のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円銭)
前回発表予想 (A)	1,922	500	501	348	91.05
今回修正予想 (B)	1,349	80	87	56	14.64
増減額 (B - A)	▲573	▲420	▲414	▲292	
増減率 (%)	▲29.8%	▲84.0%	▲82.6%	▲83.9%	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	1,466	230	238	175	45.85

2. 業績予想修正の理由

2023年2月8日付で公表いたしました2023年12月期の通期業績予想においては、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた動きを前提としておりました。

当社の属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、社会のデジタル化を背景に好調に推移しております。

一方で、当社の主なクライアントであります中小企業の景況感は、2023年4-6月期の全産業の業況判断DI（「好転」-「悪化」）が▲10.8とマイナスで推移しているものの前期（1-3月期）と比べ2.9ポイント改善しており、2期連続してマイナス幅が縮小しております（独立行政法人 中小企業基盤整備機構「第172回 中小企業景況調査」より引用）。一方で、2023年上半期の倒産件数は前年同期比で31.6%増加しており（株式会社帝国データバンク「全国企業倒産集計 2023年上半期報」より引用）、依然として中小企業の広告需要については不透明な状況が継続しております。

こうした状況下において、当社はこれまで新規顧客の獲得や既存顧客の広告予算増加に注力し、またソフトバンク株式会社との協業拡大に注力して参りました。

しかし、これまで当社が取り組んでおりました広告媒体からの業務受託案件につきまして、前期より取引高の減少傾向が続いておりました。その為、前回発表の通期業績予想におきましても縮小傾向を前提に策定しておりましたが、策定当時の予測を上回る水準で取引高が減少しており、前回発表の通期予想比▲48.2%（前期比▲71.9%）と想定しております。

上記のマイナス分を補うべく、当社の営業収益の約7割を占めております既存顧客からの広告予算の増額の獲得による営業収益は前期実績比+1.7%と想定しております。また新規顧客の獲得による営業収益は前期実績比+54.6%と想定しております。さらにソフトバンク株式会社との協業につきましては協業案件の拡大により前期実績比+41.2%と想定しており、ともに前期実績を上回る水準で推移するものと想定しております。

しかし、既存顧客からの広告予算の増額の獲得による営業収益は前回発表の通期予想比+3.3%と想定しておりますが、中小企業の広告需要の低迷を背景とした新規顧客の獲得の不振により新規顧客獲得による営業収益は前回発表の通期予想比▲77.2%、またソフトバンク株式会社との協業による営業収益は前回発表の通期予想比▲40.8%と想定しております。その結果、営業収益は前回発表の通期予想比▲29.8%と想定しております。

販売費及び一般管理費につきましては、前回発表の通期予想比▲10.8%とコスト削減による減少を想定しております。当社では、これまでコスト削減を継続しており、人件費の抑制や旅費交通費、交際費等のコスト削減により前回発表の通期業績予想に対して▲10.7%と想定しております。しかしながら、営業利益につきましては、上述の営業収益の減少の影響が大きく前回発表の通期予想比で▲84.0%と想定しております。

今般、新型コロナウイルスの感染状況による業績への影響は軽微であるとみておりますが、第3四半期以降の受注見込み等を再確認し、慎重に検討した結果、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益については前回発表の通期業績予想を下回ることが想定されるため、通期業績予想を下方修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 期末の配当予想につきまして

なお、通期業績予想は修正いたしますが、期末の配当予想につきましては、前回予想どおり15円00銭を予定しております。

4. 役員報酬の減額について

当社は、この度の業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を

実施いたします。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	(1名)	:	月額基本報酬の10%
常務取締役CFO	(1名)	:	月額基本報酬の5%

(2) 対象となる期間

2023年8月から2023年10月まで(3か月間)

以上